国語の窓　第２８号　　2022.6.15

「わたしとルントウとではどちらがかわいそうか」－反対質問①－

「ディベート・レジュメ用紙」の記述内容－ルントウ側－

〈立論の要旨〉

１　ルントウのまわりの状態は、家庭においても経済の面においても非常に苦しいものがあり、大変つらい生活を強いられている。

２　当時の民衆の敵である兵隊、匪賊、役人、地主などによって、ことごとくいじめられた。どのようなことかと言うと、税を厳しく取ったり、ものを盗んだりで、やりたい放題やっていた。

３　人間は、子どもから大人になれば、顔つきや体形などは、ある程度変わるものだが、ルントウの場合は、全てにおいて昔の面影が消えている。これは良い意味であればいいのだが、ルントウの場合は昔のよかったものまでスポイルされているような気がしてならない。

ルントウ側からわたし側への反対質問

司会　作戦をやめてください。では、ルントウ側の反対質問に移ります。時間は８分です。

布施（ル）　なぜ「わたし」は知事になって幸福なのに、かわいそうだと思うのですか。

岡（わ）　必ずしも、知事ということだけで幸せとは限らないのではないですか。

横山（ル）　「わたし」も悲しみや苦しみをたくさん背負っていますが、ルントウに比べればたいしたことはないんじゃないですか。

野崎（わ）　ルントウが不幸なのはルントウだけじゃなくて、その村に住んでいる人がみんな不幸だけど、「わたし」が不幸な気持ちは「わたし」にしかわからないと思うので、そんなことはないと思います。

佐藤（ル）　今、立論で「わたし」は貧乏であると言いましたが、３人もおめかけがいるのになぜそういうことが言えるのですか。

岡（わ）　３人もつけられるというのは、知事の人は３人くらいおめかけがいないと、その仕事はできなくて、ないお金をがんばって３人に払って貧乏なんだと思います。

佐藤（ル）　「わたし」の方の参考資料をご覧ください。立論の論点というところに、がらくたを売ってお金をつくらなくてはならないほど貧乏だからと書いてありますが、「わたし」の方は、がらくたがあるだけいいのではないですか。

岡（わ）　ルントウのところにも、がらくたがないというわけではないのではないでしょうか。

横山（ル）　青い紙の参考資料をご覧ください。もし、ここで「わたし」がだめと言えば、ルントウは品物を選ぶようなことはないと思います。しかし、選んだということは、「わたし」がルントウは貧しい、かわいそうと思っていたからなのではないでしょうか。もし、そうなると「わたし」よりルントウの方がかわいそうだということになるのではないでしょうか。

岡（わ）　では、次の質問をお願いします。

司会　時間です。これから、２分間の作戦タイムに入ります。判定員の皆さんは判定表に書き込んでください。